

# 消費エネルギー削減率計算書

NEDO対応ソフト: 松本建工株式会社

Ver.2

NEDO頁	NEDOシステムNo	NEDO申請システム名称	事業主公募者	
247	247-A12-新-4-空・給・調・断	FPの家高効率エネルギーシステム	<b>施主様</b>	<b>邸</b>

	戸建住宅の標準消費エネルギー (二次エネルギー) 延床面積 125㎡、MJ/年・世帯	導入システムの 標準消費エネルギー (二次エネルギー)		システム導入後の 二次消費エネルギー	エネルギー 削減量	
	(温暖地域)	延床面積 <b>122.77</b>		㎡		
暖房	14,823	×	123 / 125 =	14,558	9,395	5,163
冷房	1,013	×	123 / 125 =	995	289	706
給湯	17,351	×	123 / 125 =	17,041	4,260	12,781
調理	4,014	×	123 / 125 =	3,942	1,812	2,130
照明	5,057	×	123 / 125 =	4,967	4,967	
その他	8,535	×	123 / 125 =	8,382	8,382	
合計	50,793			49,885	29,105	20,780

<b>消費エネルギー削減率</b>	<b>41.7</b>	<b>%</b>
-------------------	-------------	----------

導入システムの各機器COP								蓄熱暖房器空調床面積		122.77	㎡
No	エアコン・品番	呼称	台数	エアコン・暖房		エアコン・冷房		No	給湯・品番	給湯・COP	
1	CS-223EB	2.2	1	COP	6.04	COP	6.29	38	CHP-H371AK	3.00	
				割合	%	割合	%				
4	CS-283EB	2.8	1	COP	5.93	COP	5.89	No	電磁調理器・品番	電磁・COP	
				割合	%	割合	%	40	KZ-321L	0.87	
				COP		COP		NEDO基準・各機器効率			
				割合	%	割合	%	空調機		暖房	2.97
				COP		COP				冷房	2.67
				割合	%	割合	%	石油暖房機 (密閉式強制給排気型)		0.88	
				COP		COP		石油給湯機		0.87	
				割合	%	割合	%	ガスコンロ		0.4	
				COP		COP		ガス給湯機		0.75	
				割合	%	割合	%	電気温水器		0.86	
				COP		COP		電磁調理器		0.83	
				割合	%	割合	%				
No	蓄熱暖房器・品番	呼称	台数	蓄熱暖房器・暖房				No	地域	熱損失係数(Q値)	負荷低減率
28	VFMi-30J3M1	3.0	1	COP	0.90			53	FP 仕様 次世代 基準	1.59	0.66
				割合	30.0 %						
32	VFMi-70J3M1	7.0	1	COP	0.90					2.40	
				割合	70.0 %						

消費エネルギー削減率計算において、表:NEDO基準・各機器効率において空調機(暖房・冷房)・ガスコンロ・ガス給湯機の数値を使用。  
 「FP住宅」と「次世代省エネ(平成11年)基準住宅」の熱損失係数(Q値)の比率を負荷低減率として、削減率の計算に入れる。  
 蓄熱暖房器の暖房割合は、各蓄熱暖房器の空調床面積に対して、延べ床面積で割った比率とした。  
 HPエアコンの暖房・冷房割合は、HPエアコンの冷凍能力を、各HPエアコンの冷凍能力を合計した能力で割った比率とした。

**< 削減率計算表の使用方法 >**

1. 事前に、熱損失係数(Q値)を計算してください。削減率計算で必要です。
2. 黄色の枠に、「数値」、「事業主公募者氏名」を記入してください。記入漏れがあると、計算できません。
3. 「システム名称」、「システムNo.」、導入機器の「機種品番」、「COP」、建設地の地域区分は、右の表に記載した「No」を、各水色の枠に記入してください。記入漏れがあると、計算できません。  
「割合」は、自動的に比率を算出します。
4. 黄色の枠以外をさわったり、変更するとソフトが機能しなくなります。ご注意ください。
5. **このソフトを許可なく使用すること、および変更して使用することを禁じます。**  
 問合せ先: 松本建工(株)FP事業部 西方ひとみ